

## 平成30年度第2回緑区公民館運営審議会議事録

- 1 日 時 平成31年3月14日(木) 午後2時00分～午後3時40分
- 2 場 所 千葉市誉田公民館 1階 会議室
- 3 出席者 委 員 7人  
牧野 來世志 委員(委員長) 伊藤 晴代 委員(副委員長)  
石井 芳夫 委員 遠藤 秀隆 委員  
長門 智恵 委員 丸島 昭男 委員  
安部 浩一 委員  
(欠席:稲生 はるみ 委員・宮城 祐子 委員・木澤 康男 委員)  
事務局 11人  
山田 課長(生涯学習振興課) 柴崎 主査(生涯学習振興課)  
石毛主査補(生涯学習振興課)  
伊藤 館長(誉田公民館) 笹本 館長(椎名公民館)  
諸木 館長(土気公民館) 戎谷 館長(越智公民館)  
上村 館長(おゆみ野公民館)  
林 副館長(誉田公民館) 鈴木 主事(誉田公民館)  
鵜田 主事(誉田公民館)

### 4 次 第

- (1) 開 会
- (2) 千葉市緑区公民館運営審議会委員長挨拶
- (3) 千葉市生涯学習振興課課長挨拶
- (4) 議 事
  - ①報告事項  
ア 平成30年度千葉市緑区公民館使用状況について(平成31年1月末現在)  
イ 平成30年度千葉市緑区公民館事業報告について(平成31年1月末現在)
  - ②協議事項  
ア 平成31年度千葉市緑区公民館事業計画(案)について
  - ③報告事項  
千葉市公民館設置管理条例の一部改正について
- (5) 閉 会

### 5 議事の概要

- (1) 開 会
- (2) 千葉市緑区公民館運営審議会委員長挨拶
- (3) 千葉市生涯学習振興課課長挨拶
- (4) 報告事項 ア 平成30年度千葉市緑区公民館使用状況について  
平成31年1月31日までの千葉市緑区各公民館の「開館日数」「使用者数」

及び誉田公民館図書室、越智公民館図書室の「開館日数」「蔵書数」「登録者数」「貸出冊数」等について事務局（誉田公民館長）から報告した。また、土気あすみが丘プラザ休館による抽選予約の影響について事務局（土気公民館長）から報告した。

- (5) 報告事項 イ 平成30年度千葉市緑区公民館事業報告について  
平成31年1月31日までの千葉市緑区全体事業報告、各公民館主催事業報告を事務局（各公民館長等）から順次報告した。
- (6) 協議事項 ア 平成31年度千葉市緑区公民館主催事業計画（案）について  
千葉市緑区全体事業、各公民館主催事業計画（案）を事務局（各公民館長等）から順次説明し、承認された。
- (7) 報告事項 千葉市公民館設置条例の一部改正について  
改正の趣旨、改正の理由、改正の内容、施行期日を事務局（生涯学習振興課課長）から説明した。

## 6 質疑応答

- (1) 報告事項 ア 平成30年度千葉市緑区公民館使用状況について
  - 丸島委員 千葉市の公民館全体で、資料を今年度から統一したということですが、今年度は1月末の統計資料で、昨年度は3月末のデータでは比較ができません。越智公民館は増えているので分かりますが、他の公民館は減っているのではなく、2月と3月のデータが入っていないため比較することができません。また、越智公民館がどのような活動をして増えたのか教えてください。
  - 山田課長 今年度から指定管理者制度の導入に伴い、昨年度まで区によって違っていた書式を統一しました。単純な比較ができないのは、ご指摘の通りだと思います。利用者状況の確定版は、来年度の第1回運営審議会で報告をし、今回は中間報告となります。今後、より分かりやすい資料作成に努めたいと思います。
  - 戎谷館長 越智公民館の利用者数が増えた理由としては、先ほど土気公民館長からも説明がありましたが、主に土気あすみが丘プラザの改修による影響ですが、できるだけ利用できるように丁寧に案内や相談を行った結果と考えます。
- (2) 報告事項 イ 平成30年度千葉市緑区公民館主催事業について
  - 牧野委員長 一見、資料としては全体的に見やすくなったように思いましたが、公民館によって時系列順や施策事業別となっています。資料の統一がされていないのはなぜですか。
  - 柴崎主査 施策事業別になっている資料の方が見やすいと、他の区委員から意見があり、今回の資料作成に反映できなかったところもありました。時系列順と施策事業別のどちらが良いか検討し、次

回までに統一したいと思います。

丸島委員 成人男性の参加に期待し、男性限定にした主催事業はありますか。

笹本館長 昨年度まで男の料理教室を実施していましたが、女性からも参加したいと要望がありましたので、男性限定を見直して実施しました。

丸島委員 利用率を見ても圧倒的に女性の利用者が多いです。公民館が地域交流の場としての役割を担っていくためには、男性の参加を意識した事業を取り入れる必要があると思います。

笹本館長 利用者の要望を受けて、男性限定にせず、より多くの方が参加できるように、門戸を広げて実施しました。

大塚委員 高齢者は別として男性が平日に仕事を休み、主催事業やサークル活動に参加する事は難しいのではないのでしょうか。

丸島委員 休みの日に、男性を意識した事業を考えても良いと思います。男性が地域社会に果たしている役割を広めていく事で、今回の問題解決に繋がるのではないかと思います。また、越智公民館では今回、主催事業に参加できなかった人に対して、新たに講座を増やし対応するというのは、今までに無い試みで、他の公民館でも考えてもいいと思います。

戎谷館長 今年のリクエスト講座は想定のうえで実施しましたが、昨年もリクエスト講座を実施しており、昨年度末に報告をしています。追加の講座の実施が可能かどうかは、講師や申込者の日程等の都合によります。リクエストとして実施できるのか、新たな講座とするのかは、各公民館の裁量で判断することになると思います。

山田課長 一律に委員会や中核公民館から指示を出すことはできませんが、各公民館の実情に合わせて、可能な範囲で定員や回数を増やす。次年度の定員数を変えるなど、各公民館の事情に合わせた対応をしていきたいと思います。

牧野委員長 緑区の置かれた環境、他の区でもそれぞれの環境に応じたやり方があり、対応も違うかと思しますので、それぞれの区や各公民館に合った対応、全体的な方向性を振興課が決めていく事を期待しています。

(4) 協議事項 ア 平成31年度千葉市緑区公民館主催事業計画(案)について

安部委員 事業の実施時期は、とても大切だと感じます。椎名公民館は「春の花づくり入門」と「秋の花づくり入門」、「正月飾りを作る」など、時期のちょうど1ヶ月くらい前に実施予定していて、素晴らしいと思います。

伊藤副委員長 誉田公民館の〈区事業〉「子育てママのおしゃべりタイム」は

21回とありますが、5月から3月まで誉田公民館で21回ですか。

林 副 館 長 「子育てママのおしゃべりタイム」開催自体が21回です。4月と8月と実施しない月があります。

伊藤副委員長 前回までは別枠で印刷されていましたが、今回からは誉田公民館の事業計画の中に入れるのですか。

また、実施日や回数などは携帯やネットで千葉市のホームページから誉田公民館を調べれば分かりますか。

林 副 館 長 昨年度までは別枠になっていましたが、今回からは誉田公民館事業計画の中に入れてあります。実施日などの詳細はホームページに掲載しています。

牧野委員長 各公民館で実施した主催事業で、人気の高い講座、お勧めの講座などの共有などはしていますか。

伊 藤 館 長 各館で実施したお勧めの講座や人気の高い講座を挙げてもらい、一覧にした共有フォルダを作成していて、全ての公民館で情報共有ができるようにしています。その情報を基に他館で人気の事業を取り入れたり、継続したりしています。

丸 島 委 員 多数の応募者がいる事業を継続していくことも大事だと思いますが、人気が無くても、救命講習など必要不可欠な事業があるのでないかと思います。

伊 藤 館 長 おっしゃる通りです。人気が無くても、救命講習や高齢者を狙った詐欺対策など、身近で生活に即した事業を実施するため、各公民館で工夫や取組みを行なっています。

山 田 課 長 千葉市教育振興財団と教育委員会とで連携し、今後は講座の数を増やすだけではなく、講座の質を高めて、地域課題に合った講座、郷土意識を育む講座なども充実させていきたいと考えています。

笹 本 館 長 椎名公民館では、乳幼児と小学生対象の講座は大幅に定員割れしてしまいますが、子どもたちにとって大切な時期ですので、参加人数のみにとらわれずに毎年、継続して実施しています。

(5) 報告事項 千葉市公民館設置条例の一部改正について

丸 島 委 員 政治報告会が認められた事により、部屋の利用に割り込まれたりしませんか。

山 田 課 長 政治的利用での部屋の予約については、先着予約から受付ます。定期利用、抽選予約などサークル団体への影響はありません。

牧野委員長 市外住民から使用料を徴収した例がありますか。

山 田 課 長 市外住民からの徴収実績はありません。条例上、市外住民の方も利用できますが、ただし有料で金額が決まっていますので、10月からの消費税増税に伴い金額を改定します。

牧野委員長 市外住民が参加しているサークルもありますが、徴収していませんか。

山田課長 構成員全員が市外住民のサークル登録はありません。したがって、徴収実績はありません。

(6) その他

山田課長 2月に千葉市公民館情報誌を、公益財団法人千葉市教育振興財団が創刊しました。各公民館の主催事業、全てが掲載されています。これまで市政だよりで公民館の主催事業の紹介をしていましたが、紙面の都合上、全ての公民館主催事業を掲載することができなかつたので、千葉市教育振興財団が自主的に情報誌を発行しました。今後、2ヶ月に1回、随時発行していきます。公民館、コミュニティーセンター、区役所などの市内公共施設に配付します。また千葉市教育振興財団のホームページにも同様の内容を掲載しています。

【問い合わせ先】

生涯学習振興課

TEL 043-245-5954